

「病院」 第47巻 総目次

1988年(第1号〜第12号)

数字は通巻頁数, () 内の数字は号数

特集

●病院のリフォーム——(1)

今, なぜリフォームか……………紀伊國 献三 23

病院医療機能のリフォーム

……………大道 學・黒岩 卓夫・伊賀 六一 26

病院建築のリフォーム……………長澤 泰・辻野純徳

岡田 啓成・衣笠 恵士・竹内 正忠 34

病院のリニューアルと経費……………佐伯 直道 45

ここをリフォームしたい……………内村 逸郎・市川 静雄

竹内 昶篤・備瀬 信子・的山 勝子 49

〈事例報告〉高知市立市民病院のリフォーム

……………山本 彰芳・西村 彰夫 57

組織のリフォーム……………西村 周三 61

●週休2日制への対応を探る病院——(2)

週休2日制の動向と病院の対応……………黒田 幸男 113

労働基準法改正の実際と狙い……………米川 一充 117

週休2日制と勤務体制……………石山 稔 121

週休2日制と人員配置……………高橋 百合子 125

週休2日制と勤務時間管理……………岡野 博 127

公立病院の4週6休制実施状況と問題点……………小野 幸雄 132

各種週休2日制実施病院からみた問題点

……………森田 明男・木下 洋一・小林 満 136

病院における週休2日制の変遷と実施上の問題点

……………西中 正久 141

●病院事務長の人材養成——(3)

今, 求められる事務長像……………小野 肇 207

事務長の資質と養成……………堀内 光・水落 理・大塚 暢

岩本 鉄矢・渡辺 晃・柴崎 清治 211

事務長の生涯教育……………益田 啓作 224

病院管理事務研修の目的と実際……………針谷 達志 227

病院管理研究所の研修を受けて……………木下 敬・都 直人

佐藤 貞雄・米岡 信一・山崎 巖・他 232

●地域医療計画と病院——(4)

地域医療計画作成の狙いと概要……………潮見 重毅 299

地域医療計画策定の進行状況と問題点……………大道 久 303

地域医療計画策定事例の実際……………島田 恵晨

大沢 俊雄・井上 廣・白山 鴻鍵・中野 敦厳 309

地域医療計画をどうみるか……………大田 浩右・岩本 光存欣

安東 三郎・黒岩 卓夫・竹内 三郎 320

〈座談会〉地域医療計画と今後の医療……………大塚 知雄

池亀 信・伊賀 六一 〈司会〉岩崎 榮 326

〈資料〉北海道医師会における医療圏設定の手順と考え方

……………大内 東・宮腰 昭男・小野 修

長沢 邦雄・飯塚 弘志 336

●ナースに選ばれる病院——(5)

〈座談会〉私が求める病院像……………押切 節子・上野 公子

飯塚 京子 〈司会〉横田 喜久恵 392

ナースの病院選択のポイント……………遠藤 セツ・藤枝 知子

井上 敏枝・吉武 香代子・川崎 泰子

阿部 静子・葉王子 和子・坂本 万千子 398

ナースに選ばれる病院づくり……………中野 進・平山 登志夫

山崎 絆・吉田 史江・板倉 利光・須賀 幸正 410

ナースはなぜ病院を辞めるのか, 辞めたがるのか

……………稲岡 文昭 421

〈関係資料〉ナースの養成費・卒後の進路と定着率

……………井手 義雄・池上 直己 424

●「病院機能評価」—現場からの検討——(6)

〈座談会〉「病院機能評価」をめぐる問題点と今後の展望

……………岩淵 勉・天本 宏・伊藤 克明

〈司会〉岩崎 榮 481

病床規模別に見た「病院機能評価」

……………斎藤 和雄・馬場 健児・飯塚 幹夫

服部 光男・長沢 亨・菊池 良郎

福田 罔如・大山 朝賢・松田 正尚 489

専門病院別に見た「病院機能評価」

……………倉持 弘・佐野 晋・竹崎 治彦

五木田 和次郎・中村 孝・中村 順一・佐藤 秀次

平塚 秀雄・湯川 永洋・谷口 堯・野口 志郎 496

「病院機能評価」をどう活用するか

……………寺田 一郎・小林 長・角田 孝穂・高山 瑩 503

新たな「評価」の試み……………東 英彦・岩崎 榮 508

●インフォームド・コンセント——(7)

なぜ今インフォームド・コンセントか……………野島 康一 572

インフォームド・コンセントの心と形……………唄 孝一 576

現代医療とインフォームド・コンセント……………砂原 茂一 579

医の倫理とインフォームド・コンセント

……………内田 卿子・大井 玄・加藤 良夫・細田 泰之

〈司会〉小笠原 道夫 596

英米におけるインフォームド・コンセントの動向

……………山中 直樹 596

病院におけるインフォームド・コンセントへの取り組み

……………山中 直樹 601

●医療におけるテクノロジー・アセスメント——(8)

医療におけるテクノロジー・アセスメント……………吉田 忠

〈てい談〉テクノロジー・アセスメントの必要性と導入

……………西村 周三・櫻井 恒太郎・小泉 俊三 661

〈講演と質疑〉クオリティ・アシュアランスを考える

……………Donald M. Berwick・岩崎 榮・池上 直己 668

「科学」としての医学の基本……………江 暎雄 674

●日本型 DRG はあり得るか——(9)

DRG とは何か

……………大田 晋・大道 學・田中 滋・二木 立 746

DRG 方式導入についてどう考えるか

……………田蔦 孝正・下間 幸雄・白方 誠彌 762

桑名 忠雄・山田 喜久夫・大山 正夫・山口 潜

〈座談会〉日本 DRG はあり得るか……………大田 晋

大道 久・岩井 宏方・中山 耕作

〈司会〉紀伊國 献三 775

DRGと世界の医療保険制度の動向	石本 忠義	783
●「老人保健施設」試行実績をこう見る (10)		
老健モデル施設からの報告		
.....柴田 裕介・中里 泰成・西元 幸雄		833
「老人保健施設」試行実績をどう評価するか		
.....若月 俊一・川村 耕造・有田 幸子		
.....岸口 繁・高原 敏夫・岩田 克夫		840
「老人保健施設」の試行的実施と今後の課題		
.....小野 昭雄		848
「老人保健施設」のモデル実施でわかったこと		
.....小山 秀夫		853
「老人保健施設」に何が期待できるのか.....三宅 貴夫		
「老人保健施設」導入により老人医療はどう変わるか		
.....大井 玄		861
●感染対策から見た医療廃棄物の諸問題 (11)		
今、なぜ医療廃棄物が問題なのか.....小酒井 望 917		
医療廃棄物による感染の実態と感染源.....岡田 淳 919		
医療廃棄物処理システムの現状と問題点		
.....佐藤 辰夫・木野 令彦・柳川 忠二		922
部門別に見た医療廃棄物とその処理方法		
.....杉山 美智子・松本 昭一郎・石射 正英		
.....島田 慈彦・岩本 昌子・千葉 栄市		928
医療廃棄物に対する職員教育をどうするか		
.....畑尾 正彦		940
廃棄物回収機関から見た医療廃棄物の実態と		
医療機関への要望.....美山 俊久		944
医療廃棄物に関する法的規制の現状.....松原 了 948		
●わが病院のめざすもの一新・改築時の理念と実際 (12)		
日鋼記念病院.....1012	東海記病院.....1032	
手稲溪仁会病院.....1014	藤田学園保健衛生大学	
清田内科消化器科病院 1016	七栗サナトリウム.....1034	
青南病院.....1018	京都府立洛南病院.....1036	
盛岡赤十字病院.....1020	北摂病院.....1038	
新潟市民病院.....1022	水島協同病院.....1040	
本島病院.....1024	松江記念病院.....1042	
諏訪中央病院.....1026	対馬いづはら病院.....1044	
甲州病院.....1028	今津赤十字病院.....1046	
東京女子医科大学	野村病院.....1048	
糖尿病センター.....1030	垂水市立医療センター	
医療法人喜峰会	垂水中央病院.....1050	
■固定欄およびコラム一覧		
〈グラフ〉		
医療法人晴山会平山病院・社会福祉晴山会晴山苑.....9 (1)		
市立三笠総合病院.....105 (2)		
東京都立大塚病院.....193 (3)		
宗教法人在日本南ブレスピテリアンミッション		
淀川キリスト教病院.....285 (4)		
社会保険中央総合病院.....377 (5)		
大垣市民病院.....465 (6)		
医療法人創和会重井医学研究所付属病院.....557 (7)		
愛知県厚生連総合渥美病院.....645 (8)		
東京慈恵会医科大学附属柏病院.....733 (9)		
特定医療法人福井心臓血管センター福井循環器病院・		
医療法人福井愛育病院.....821 (10)		

兵庫県立尼崎病院	909 (11)
天理よろづ相談所病院	997 (12)
〈人〉	
藤間弘行医療法人藤和会藤間病院院長	藤間佐多夫 16 (1)
柳澤忠名古屋大学工学部教授	榊原 欣作 112 (2)
落合美美子国立身体障害者リハビリテーションセンター	
病院看護部長	二瓶 隆一 200 (3)
中嶋宏世界保健機関本部事務局長	三浦 四郎衛 292 (4)
太田裕祥社会保険中京病院院長	八坂 孝 384 (5)
金山昭平第 18 回 IAMLT 学会総会組織委員長	
	赤木 博實 472 (6)
蟻田功国立熊本病院院長	麦谷 真里 564 (7)
米澤亀代子全国病院栄養士協議会会長	立川 俱子 652 (8)
内山一雄小林市立市民病院院長	谷口 武臣 740 (9)
三宅史郎日本大学医学部長	川北 祐幸 828 (10)
高橋則行日本病院薬剤師会会長	梅澤 修 916 (11)
柏原貞夫天理よろづ相談所病院院長	今中 孝信 1004 (12)
〈今日の視点〉	
〈インタビュー〉激動期の厚生行政を語る	
	長野 祐也・大谷 藤郎 17 (1)
基準看護の現状と問題点一特二類基準看護病院	
におけるケアのバラツキ	川島 みどり 201 (3)
都市一般病院における脳卒中リハビリテーション一早期	
リハビリテーションの技術と経済	二木 立 293 (4)
看護学生の病院選択基準と進路指導のあり方	
	高木 永子 385 (5)
〈座談会〉民間病院における MSW の将来像	
	鳥羽 信行・横山 康一・池田 純子
	増山 明美 〈司会〉池上 直己 473 (6)
〈対談〉転換期の医療行政と民間病院	
	仲村 英一・塙 正男 565 (7)
医療サービスの変貌と広告規制	大池 眞澄 653 (8)
在宅医療の制度化に伴う法的問題 (その 1)	
	宇都木 伸 741 (9)
在宅医療の制度化に伴う法的問題 (その 2)	
	宇都木 伸 829 (10)
看護力の再編成	加藤 政子 1005 (12)
〈特別企画・特別記事・特別寄稿〉	
非常時の対応と問題点一千葉県東方沖地震の体験から	
	高梨 賢・大久保 恵司・小俣 真太郎 529 (6)
医師-患者関係からみた治療行為の型と治療関係	
	小野 重五郎 705 (8)
医療ガス配管工事ミスは何故繰り返されるのか	
	佐藤 暢 864 (10)
保健・医療・福祉サービス総合化のための病院の役割	
	川添 善弘 874 (10)
〈建築と設備〉	
勸大阪がん予防検診センター	木村 儀一 75 (1)
大阪府立病院	伊藤 誠 161 (2)
兵庫県立尼崎病院	牧野 尚彦・梶原 昭二 249 (3)
富士宮市立病院	梶原 正樹・角沢 信夫 341 (4)
高度医療機器 3 題	長澤 泰 433 (5)
結核療養施設の転換 3 題	伊藤 誠・浅野 忠信
	西野 範夫・石本建築事務所 521 (6)

青森市民病院	佐藤武夫設計事務所	613 (7)
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		
久米建築事務所・教育施設研究所		693 (8)
佐々木研究所附属杏雲堂病院	浜田 知直	789 (9)
碧南市民病院		
名古屋大学柳澤研究室・久米建築事務所		877 (10)
東京都立大塚病院	小山 文雄	965 (11)
病室の環境を考える	中谷 義宣	1053 (12)
〈病院アレコレ見聞録〉		
兵庫県・医療法人隈病院	隈 寛二	65 (1)
京都府・医療法人医仁会武田病院		
武田 隆男・大谷 藤郎		620 (7)
京都府・財団法人高雄病院	中村 仁一	699 (8)
大分県・特定医療法人天心堂へつぎ病院		882 (10)
〈シリーズ・病院経営〉		
岐阜県・羽島市民病院	後藤 明彦	358 (4)
私の病院経営論序説	野口 志郎	795 (9)
兵庫県・公立八鹿病院	谷 尚	971 (11)
愛知県・旭労災病院	土田 勇	1060 (12)
〈院長の人〉		
伝承を継承しながらユニークな発想で時代を先取りする——		
三信会原病院	原 三信・豊福 省三	
〈聞き手〉紀伊國 献三		86 (1)
規則で縛ることなく、いつも自由な発想で		
患者中心の医療を実践する	本宿 尚	
〈聞き手〉紀伊國 献三		956 (11)
〈精神病院・わが病院づくり〉		
長野県・南信病院	近藤 廉治	80 (1)
高知県・同仁病院	竹崎 治彦	144 (2)
千葉県・精神科医療センター	計見 一雄	676 (8)
〈医療における QOL——現代患者論序説〉		
アキイエ・ヘンリー・ニノミヤ		
5. 人格形成ファクターと患者の QOL		171 (2)
6. 高齢期ファクターと患者の QOL		439 (5)
7. 物理的・身体的ファクターと患者の QOL		603 (7)
〈医療従事者のための患者学〉		
木村 登紀子		
1. “患者学”とは何か		167 (2)
2. “患者”とは何か		262 (3)
3. 東洋における“患者”や“病氣”の捉え方		354 (4)
4. 「患者の理解」への心理学的アプローチ・その1		517 (6)
5. 「患者の理解」への心理学的アプローチ・その2		683 (8)
6. “病氣”を意識する・その1		976 (11)
7. “病氣”を意識する・その2		1064 (12)
〈事務長の Now & Know, レポート・対談〉		
事務長奮闘記	高橋 利彰	152 (2)
沖縄県立中部病院の卒後研修 20 年の歩み		
真栄城 優夫		177 (2)
国保直診施設と地域医療	黒岩 卓夫・山口 昇	255 (3)
都立松沢病院合併症病棟 10 年の歩み	金子 嗣郎	267 (3)
パソコンによる薬品管理業務の合理化とその応用		
菅 紀子・他		271 (3)
患者サービスの向上をめぐる		
森岡 恭彦・塙 正男		347 (4)
北里大学病院における職員の B 型肝炎感染防止対策の実践		

石原 昭	362 (4)
病院の改築を終えて——県立宮崎病院	本松 研一 690 (8)
〈新しい医療情報システムを作ろう！〉	
滋賀医科大学医学情報センター	
1. 滋賀医科大学医学部附属病院でのコンピュータ利用	688 (8)
2. セキュリティについて	786 (9)
3. オーダリングについて	869 (10)
4. データベースの業務への利用	951 (11)
5. メーリングについて	1070 (12)
〈日本の病院建築の七不思議〉	
柳澤 忠	
1. 狭すぎる 1 床当り床面積	540 (6)
2. 貧弱なベッド回りスペース	610 (7)
3. 看護動線の長い病棟平面	716 (8)
4. サポートシステムの軽視	804 (9)
5. 手術部平面の多様化	872 (10)
6. 病床利用率と病床回転率の混同	954 (11)
7. 不完全な病院の設計条件	1068 (12)
〈中国医療の窓〉	
小林 太助	
1. 中国の医療制度と病院	155 (2)
2. 中国の医学教育の現状	240 (3)
3. 中日友好病院点描	448 (5)
4. 中国の医療保険制度と計画出産	608 (7)
5. 中国の薬事状況と愛国衛生運動	718 (8)
〈厚生行政 Q & A〉	
厚生行政研究会	
医師の臨床研修について	150 (2)
聴覚障害者の医療	238 (3)
病院電算処理システムと保険請求	536 (6)
高齢化対策と医療・保健・福祉の地域ネットワーク	628 (7)
地域医療計画後の病院	710 (8)
痴呆性老人専門治療病棟と在宅介護の支援体制	806 (9)
国民健康保険事業の安定化計画	892 (10)
日本型 DRG はあり得るか	982 (11)
〈コーヒープレイク座談会'88〉	
1072 (12)	
〈統計のページ〉	
福島 絢	
自治体病院における給食管理の実態(1)	242 (3)
自治体病院における給食管理の実態(2)	336 (4)
病院運営管理の実態(1)	712 (8)
病院運営管理の実態(2)	888 (10)
〈医療・病院管理用語ミニ辞典〉	
アフターケアとリハビリテーション	小野 丞二 71 (1)
血液ガス分析	塚本 玲三 71 (1)
「訂正」比率と標準化計算	一条 勝夫 182 (2)
ホルター心電図	石川 恭三 182 (2)
医療評価	小野 丞二 248 (3)
ヒス束心電図	石川 恭三 248 (3)
独立採算制	一条 勝夫 366 (4)
人工ペースメーカー	石川 恭三 366 (4)
平均在院日数	小野 丞二 432 (5)
バピロトミー	小野 美貴子 432 (5)
ABC 管理	一条 勝夫 542 (6)
食道動脈瘤硬化療法	高瀬 靖広 542 (6)
オープン・システム病院	小野 丞二 630 (7)
消化管ポリペクトミー	武藤 徹一郎 630 (7)
アンケート調査	一条 勝夫 722 (8)

ERCP	西崎 統	722 (8)
グループ・プラクティス	小野 丞二	803 (9)
腹腔鏡	西崎 統	803 (9)
費用と原価	一条 勝夫	895 (10)
腹腔穿刺	西崎 統	895 (10)
医薬分業	小野 丞二	981 (11)
突発性難聴	大塚 護	981 (11)
チェーン・ホスピタル	一条 勝夫	1077 (12)
聴性脳幹反応	大塚 護	1077 (12)
<定点観測>		
カルテの向こうに生活実態が見えますか	中田 なみ子	94 (1)
包括医療体系と自治体の責任	能海 勲	247 (3)
へき地医療の灯を点す	中田 なみ子	431 (5)
病院事務長論	熊海 勲	715 (8)
地域医療における病院の役割 (その2)	竹内 実	894 (10)
〃 (その3)		1078 (12)
<病院管理トピックス>		
[栄養]	最勝寺 重芳	
病院給食システム変身の時代		72 (1)
メニュー選択と個人対応		244 (3)
診療報酬改定を機に望むこと		447 (5)
[薬剤]	中原 保裕	
病院はもっと薬剤師の活用を考えてみては！		73 (1)
患者のリズムに併せたテオフィリン投与を！		245 (3)
診療報酬改定に伴う薬剤師機能の見直し		634 (7)
クリニカルファーマシーの課題		897 (10)
[図書]		
...後藤久夫・殿崎正明・近藤久直・佐藤淑子・奈良岡 功 病院図書室の実態と今後の方向		74 (1)
病院図書室ネットワークの現状		246 (3)
パーソナルコンピュータの利用		544 (6)
商用データベースへのアクセス(1)方法・JOIS		632 (7)
商用データベースへのアクセス(2)BRSとDIALOG		808 (9)
商用データベースへのアクセス(3)医学中央雑誌 タイトルガイド		985 (11)
入院患者への図書サービス		1074 (12)
[医事]	石坂 恵介・都 直人・中川 純子	
医事部門と他部署・部門との連携		338 (4)
医事管理におけるインフォームド・コンセント		987 (11)
[放射線]	古寺 研一	
放射線診断に従事する人間の心構えについて		158 (2)
放射線被曝について		399 (4)
造影剤に関する諸問題		445 (5)
フィルムの管理・保管		810 (9)
[検査]	清瀬 闊・中 甫・水野 映二	
中央検査部運営管理		159 (2)
検査情報の流れと信頼性の維持		543 (6)
医療の高度化・多様化への中央検査部の対応		631 (7)
中央検査部の設計と設備		720 (8)
経済管理		1076 (12)
[庶務・人事・労務]	石山 稔	
なぜ『病院事務マニュアルシリーズ』なのか		546 (6)
広報活動		721 (8)

職務調査		898 (10)
[看護]	永山 くに子	
婦長は今		160 (2)
婦長の教育的機能と役割		340 (4)
[施設]	静 昌平	
米国の大学病院施設管理から学ぶこと		896 (10)
[医療情報・診療録管理]	星野 桂子	
医療情報増大化の実態		984 (11)
<時評>		
「人体実験」考	小野 重五郎	95 (1)
医療費を抑制することはできるのか	斎藤 芳雄	183 (2)
在宅ケア政策の必要条件	宮森 正	275 (3)
在宅療養は可能か？	斎藤 芳雄	367 (4)
病院乗っ取り事件の横行	宮森 正	452 (5)
婿とり・姉さん女房のすすめ	斎藤 芳雄	547 (6)
診療報酬改定とプライマリー・ケア	宮森 正	635 (7)
老人保健施設で酒は飲めるか	斎藤 芳雄	723 (8)
国保改革と過疎地	宮森 正	811 (9)
脳死—臓器移植に思うこと	斎藤 芳雄	899 (10)
人権意識が問われる「知らされた上の同意」	宮森 正	987 (11)
今、なぜ「死」が語られるのか？	斎藤 芳雄	1079 (12)
<書評>		
よき臨床医をめざして	柴田 進	64 (1)
新建築学体系 31・病院の設計	尾崎 恭輔	124 (2)
医・病院経営チェック・マニュアル	石丸 大輔	420 (5)
ホスピスケアのデザイン	黒岩 卓夫	802 (9)
塙正男対話集：医療ってなんだろう	若月 俊一	975 (11)
臓器移植と脳死の法的研究	坂上 正道	1052 (12)
<病院だより・風信・追悼文>		
カナダの精神科専門看護婦と共に働いて 浅井 邦彦		453 (5)
石原信吾先生の思い出	今村 榮一	964 (11)
治療食もおいしく！！	道本 智晴	980 (11)
<海外医療情報>		
アメリカの病院の 1986 年概況	二木 立	48 (1)
末期癌患者に対する高密度在宅ケア (在宅ホスピス) 給付の効果		93 (1)
米国の営利病院チェーンの多国籍展開		131 (2)
保健・医療経済学		176 (2)
家庭医による大学病院への患者紹介の経済的影響		365 (4)
過剰診療で医療サービス実施率の地域差を説明できるか？		391 (5)
医師の行動を変化させ医療費を抑制する戦略		575 (7)
英国の私的医療統計調査		602 (7)
英国のスウィングベッド：最近の経験と今後の方向		656 (8)
英国での地域ケアモデル事業		692 (8)
在宅ケアの効果と費用		788 (9)
支払い額事前決定制の下での医師のコスト意識		852 (10)
経済的費用と倫理的価値規範		863 (10)
メディケア加入者の再入院		1010 (12)